



JAPAN P&I NEWS

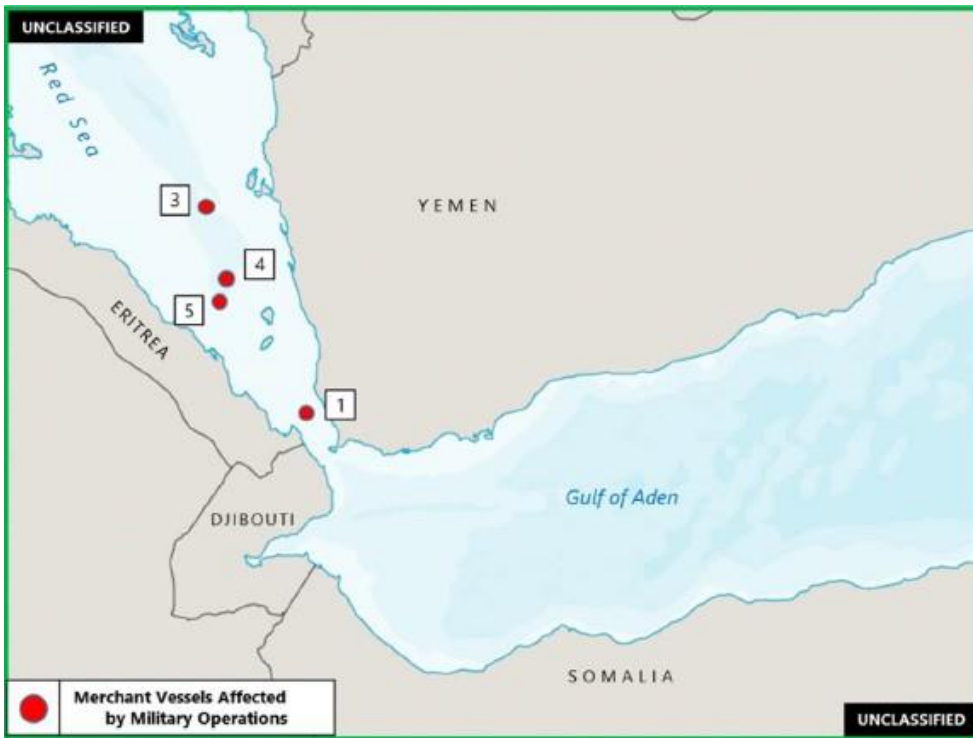
外航組合員各位

紅海・アラビア海—海賊・海上犯罪（その2）

IMB Piracy Reporting Centre から掲題に関する最新情報を入手しましたので、ご参考に供します。

1. 紅海：マルタ籍コンテナ船 CMA CGM TAGE の船長は、2024年1月2日協定世界時18時50分、エリトリア Assab の東約33海里地点で、本船の5海里以内、北緯12度57分東経43度11分付近で3回の爆発があったと通報した。フーシ派の軍事報道官はテレビ演説で、警告を無視したコンテナ船を狙ったと述べた。事件がいつ、どこで起こったかは、彼は言及しなかった。アメリカ中央軍（CENTCOM）は2024年1月2日深夜の声明で、フーシ派が紅海南部に発射した2発のミサイルによる被害は報告されていないと述べた。船員は無事で、船舶の損傷も報告されていない。
2. ソマリア：2024年1月2日午前、アデン湾 Quandala 付近で、海賊が漁船をハイジャックした。
3. 紅海：2023年12月31日協定世界時2時47分、4隻の小型ボートがシンガポール籍コンテナ船 MAERSK HANGZHOU に接近し、イエメンの Hodeida 北西約60海里（正確な位置は特定されていない）で、船内の武装保安チームと銃撃戦を繰り広げた。攻撃者は船員用の武器と小型兵器で武装し、20メートル以内に接近した。USS EISENHOWER と USS GRAVELY からのヘリコプターが、MAERSK HANGZHOU からの救難信号に応答し、自衛のために応戦、攻撃してきた4隻のボートのうち3隻を撃沈し、乗組員を殺害した。4隻目のボートはその海域から逃走した。本船と船員は無事であったと報告された。米国の要員や装備に被害はなかった。
4. 紅海：2023年12月30日協定世界時20時17分に、イエメン Hodeida 南西48海里、北緯14度21分東経42度15分付近で、航行中の船舶に2機の無人航空機（UAV）が発砲した可能性がある。UAV は船舶のレーダーには探知されず低高度を飛行し、船舶の位置から約3海里的地点で弾丸が発射される前に目視で確認された。本船は被弾せず、航行を継続した。
5. 紅海：2023年12月30日協定世界時16時55分、イエメン Hodeida 南西約55海里（正確な位置は特定されていない）で、航行中のシンガポール籍コンテナ船 MAERSK HANGZHOU にミサイルが命中した。マースク社によると、船員は無事であり、本船は完全に操船可能で、全速力でこの海域を脱出した。本船はシンガポールからエジプトのスエズ港に向かう途中であった。USS GRAVELY は、2023年12月30日協定世界時17時30分に MAERSK HANGZHOU へのミサイル攻撃に対応している間、イエメンのフーシ派支配地域から紅海南部に向けて発射された2発の対艦弾道ミサイルを撃墜した。
6. ソマリア：2023年12月30日協定世界時10時58分、ソマリア北東沖 Hafun 付近で、漁船 AL SAQAR がハイジャックされた（正確な位置は特定されていない）。その後の報告によると、漁船

は南下し、 Eyl と Hobyo の間の停泊地 Afbarwaaqo 付近で発見された。



以上